



# 学校だより

## 回覧

9月号

藤枝中央小学校

R3. 9. 2



### 「東京オリンピック」

校長 新村 和彦

突然延長された夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声と笑顔が戻ってきました。



今年の夏、57年ぶりに東京でオリンピックが開催されました。日本人選手を含め、選手たちの活躍には、目を見張るものがありました。そして、すべての選手たちの最後まであきらめない姿勢に、とにかく感動しました。コロナ禍で開催された東京オリンピックには、様々な意見がありましたが、選手たちから、たくさんの感動や元気、勇気をもらった人も多かったのではないのでしょうか。

金メダルを獲得した阿部兄妹や川井姉妹、野球やソフトボール、体操・水泳・卓球・スケートボードなど、手に汗を握りながらテレビの前で応援をしていました。メダルを獲得できなくても、たくさんの競技で印象に残った選手、場面がありました。8大会連続出場の体操、チュソビチナ選手（46歳、ウズベキスタン・・・何と初出場は、17歳！！）6大会連続出場の飛び込み、寺内健選手（41歳・・・13年ぶりの決勝進出）男子800M準決勝で転倒した2人が、最後まであきらめずに並走してゴールし、抱擁した場面など、本当にたくさんの驚きや感動を届けてくれました。



「フクヒロペア」として知られている、廣田選手は右膝前十字靭帯断裂の大けがを負いながら出場しました。準々決勝で中国ペアに敗れましたが、試合終了後に中国の選手が駆け寄り、廣田選手の患部を気遣い、健闘を讃え合うハグする場面が印象的でした。

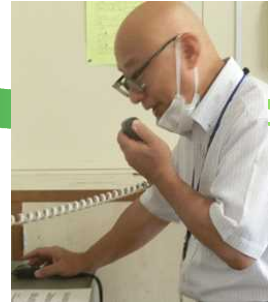
他にも、素晴らしい場面はたくさんありましたが、自分が観ていて、とにかく感動したのは新競技のスケートボード（女子）でした。選手たちは、失敗しても成功しても、演技が終わった選手に駆け寄り、みんなで励まし、みんなで喜び合っていました。特に印象深かったのは、4位で最後の演技を迎えた岡本選手（世界ランキング1位）が、メダルを狙って果敢に大技で挑んだ最後の演技でした。岡本選手は、華麗にボードを乗りこなしていましたが、最後は転倒。あと一歩メダルには、届きませんでした。演技を終えた涙の岡本選手に、各選手が続々と近寄って抱擁し、外国の選手の2人が岡本選手を担ぎ、肩に乗せて演技を称賛しました。これに岡本選手は、泣きながらも笑顔を見せて、ガッツポーズも見せていました。

正直、私はスケートボードに興味はなかったのですが、若い選手たちの目を見張る演技と、果敢に攻める勇気には魅了されました。（※13歳の西山椋選手の金メダルに驚き、12歳の開心那選手の銀メダルにまたまた驚きました。）そして、選手一人一人の演技に対して、健闘を讃え合う姿が何よりも素晴らしかったです。どの競技でも演技後（試合後）は、互いの健闘を讃え合う姿を見るのですが、スケートボードの選手たちは、どの競技の選手たちよりも笑顔で讃え合っていたのです。なかなか、できることではありません。スケートボードを楽しみ、相手選手に敬意を払い、相手選手の演技を純粋に楽しむからこそ、できる行動なのではないでしょうか？ いずれにせよ、観ていて気持ちがよかったです。※これこそ「三方よし」の精神だと思います。



結果による感動は、もちろんですが、結果にかかわらず、選手たちの演技後（試合後）の態度やコメントにも、たくさん感動、感心した東京オリンピックでした。（※現在行われているパラリンピックでも、たくさんの驚きや感動をいただいています。とにかく、「すごい！」の一言に尽きますね。）

## 「チャレンジステージ」後半戦スタート



延長となった夏休みが終わり、9月1日に、「夏休み明け集会」を行いました。感染症対策のため、校内放送を使っての開催となり、子どもたちは、それぞれの教室で児童代表の言葉や校長先生のお話を聴きました。

放送を通しての話でしたが、集中して聴き、うなずいたり拍手をしたり、良い反応をしている姿が見られました。41日間の夏休みを経て、どの子も一回り頼もしくなったように感じます。

校長先生からは、「『一人一人が中央ジャー』を目指してチャレンジしてください」とのお話がありました。3人の代表児童の言葉の中には、「あいさつ名人になりたい」「漢字の練習をがんばりたい」「地域の人にもあいさつしたい」など、新たな目標に向かって前に記に取り組もうとする気持ちがあふれていました。

これから、チャレンジステージの後半に入ります。自分の健康もきちんと守りながら、いろいろなことに挑戦して行って欲しいと思います。



## 見守り隊の村松さんが表彰されました



子どもたちがいつもお世話になっている見守り隊の村松厚子さんが、「青少年健全育成推進会議」より表彰を受けました。

村松さんは、常に明るい笑顔で中央小の子どもたちと接して下さいます。元気のない顔をしている子には、すぐに声をかけてくれる温かさがあります。子どもたちは、優しい村松さんが大好きです。

これからも、中央小の子どもたちが、笑顔で安心して学校生活を送ることができるようご支援いただければと思います。この度は、おめでとうございます！

## ★★★「にこにこあいさつ運動」標語の応募ありがとうございました！★★★

藤枝中学校区の「コミュニティースクール」のスタートに伴い、地域ぐるみで「にこにこあいさつ運動」に取り組みます。先月、標語の募集をしたところ、多くのご家庭から応募がありました。校内の審査で、代表作品19点を選ばせていただき、選考会に臨みました。特選、入選に選ばれた作品をご紹介します。

- <特選> 6年1組 大石理子さん「目が合った にっこり笑顔で こんにちは」
- <入選> 1年3組 西沢正宗さん「あいさつを するとき こころが ひかっている！」
- <入選> コスモス学級4年 山口光咲さん「あいさつの 笑顔で広がる 地域の輪」



※大石理子さんの作品はあいさつ運動ののほり旗になります。おめでとうございます！



### 9月の主な学校行事



- 9月1日 (水) 水曜日課4時間 下校 12:00  
諸会費引落日 (1回目)
- 2日 (木) 水曜日課4時間 下校 12:00  
体育施設調整会議 8:30
- 3日 (金) 水曜日課4時間 下校 12:00
- 6日 (月) 委員会活動
- 9日 (木) 水曜日課5時間
- 10日 (金) 運動会色決め集会

- 13日 (月) 教育相談日 巡回相談
- 14日 (火) SC・SSW来校日
- 17日 (金) 校内音楽会
- 21日 (火) 普通日課4時間  
(6の2以外は13:15下校)  
SC来校日
- 24日 (金) 月曜時間割
- 27日 (月) 水曜日課5時間 下校 14:00
- 28日 (火) 水曜日課5時間 下校 14:00
- 29日 (水) 水曜日課4時間 下校 12:00  
SSW来校日



※今後の感染状況によって、予定が変更になる可能性があります。ご承知置きください。